

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表														
事業所名	てらびあぽけっと与野駅前教室													
公表日	2025年 11月 20日													
利用児童数	59名							回収数 46名						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応						
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	42	4			・集団・個別時間とも十分だと思います。 ・年齢の割に体格が大きいので部屋(個別)が少し狭くなってきたように感じます。 (不満ではありません) ・十分な広さだと思います。	・小集団活動の際には、安全面に配慮し、伸び伸びと身体を動かすことができる環境作りを引き続き行なっていきます。						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	44			2	・1対1で担当して頂き十分だと思います。 ・児童一人につき一人、プラスαの職員数で十分だと思います。	・法令で必要とされている配置数に加えて、保育士と機能訓練職員をそれぞれ一名以上配置しています。 ・言語聴覚士、臨床心理士、5年以上の経験を有する保育士など、児童分野での経験と専門性を備えた職員を配置しています。今後も専門性や資質の向上を目指していきます。						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	43		1	2	・動物の名前で個室が分かりやすく表示されていると思います。 ・一目で誰が見ても分かりやすい教室作りがされていると思います。	・今後もわかりやすく、安全に配慮した環境設定を行なっていきます。						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	44	1		1	・整頓、消毒等、ていねいにして頂いています。 ・とても清潔で、子どもも居心地が良いようです。	・今後も整理整頓、換気、消毒を徹底し清潔で快適な環境作りをしていきます。						
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	43	1		2	・家庭内、外の両方の子供の特性を見てもらっています。 ・課題に応じて毎回挑戦・楽しくしやすい活動をご準備いただいたり滑舌の件では言語聴覚士の先生に対応いただくなど適切な支援をしていただけています。 ・子どもに合った指導のおかげでとても成長しています。 ・個に応じた支援を考えてくれている。	・定期的に内部研修、外部研修に参加し、職員の専門性、スキルアップを今後とも図っていきます。						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	41	1		4	・合っていると思います。	・今後も継続していきます。						
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	2		1	・親だけでは分からぬ客觀性を示して頂いています。 ・日々の様子とこちらの希望をよく聞いて作成、実行してくださっています。 ・しっかりと面談をした上で、こちらのニーズも汲み取ってもらえた内容で作成されています。 ・子供の特性や課題を考えてプログラムを作ってくれている。	・今後も継続していきます。						
	8	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	43	2		1	・されていると思います。	・今後も継続していきます。						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43	2		1	・短期、長期ともに計画に沿っています。 ・日々の様子とこちらの希望をよく聞いて作成、実行してくださっています。 ・計画通りに行われています。	・今後も継続していきます。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	40	3	1	2	・固定化されていると感じた事は一度もありません。 ・課題への対応が迅速。単にルーティン化されたものを繰り返すのではなく、課題に対し様々な方面からの取り組みがあり、ありがたいです。 ・同学年で合同授業が行われたり、とても工夫されています。	・ソーシャルセラピーの導入等も積極的に行っていきます。						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	3	8	16	・年1～2回の幼稚園訪問での担任の先生とのつながりがあり安心感。 ・幼稚園と交流してくださるなら大変ありがたいです。 ・あれば参加したいです。	・関係機関連携として、引き続きご要望があつた際は、幼稚園や保育園等に訪問し情報の共有を行なっていきます。 ・地域連携につきましては、今後の課題として検討していきます。						
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	45	1			・利用開始時に説明がありました。	・今後も丁寧な説明に努めていきます。						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	45	1			・とてもていねいにして頂いています。 ・苦手な事に対し、毎回の取り組みをフィードバックしていただき自宅でも取り入れやすいです。 ・直接見たことがないので、お迎え前など、少し見学できると嬉しい。 ・利用開始時に説明がありました。	・今後も丁寧な説明に努めていきます。						

保護者への説明等	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	4	4	8	・家族の接し方についても相談させて頂いています。 ・LINEで動画配信して下さっていますが、もう少し何かあると嬉しいです。 ・家庭でできる支援内容等、定期的に教えていただけます。	・定期的な動画配信の内容に対するご質問への返答等と併せて、フィードバックや面談の際に、ご家庭での取り組み等のアドバイスをお伝えするよう心掛けています。今後も、ペアレント・トレーニング等の知識の習得に努めています。
	15 曜日から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	42	3		1	・少しの変化でも気付いて下さっています。 ・十分できています。	・日々のフィードバックの際に、ご家庭や園での状況等を共有していただいたり、その日のらびあぱくっどの様子や、課題の進歩状況、今後に向けての取り組み等、分かりやすくお伝えしていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	42	1	2	1	・ほぼ毎回、助言を頂いています。 ・現状の発達具合で効果的な助言をフィードバックでいただけています。 ・定期的にご支援をいただけています。 ・定期的に教えて頂きたいたいです。	・支援計画更新時の定期的な面談以外にも、気軽に相談できる環境や体制づくりに努めています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	44	1		1	・他の誰よりも共感していただけています。 ・そう思います。	・今後も継続していきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	8	12	20	・個人情報等の問題で難しいかもしませんが、同年代の子供の保護者で希望者同士で交流会を開けたら嬉しいです。(情報交換の場がなかなかないため)→ 小学校以降の事を知りたく ・イベントがあれば行きたいが保育園に行っているので、なくても充分。同じ小学校に通うご家族とつながると嬉しい。 ・あれば参加したいです。 ・まだそのようなイベントに参加した事がなく不明な為。	・昨年も同様の声をいただきましたが、今のところ保護者会等を設定する目途は立っておりません。必要に応じて設定していきたいと思います。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	42	3		1	・相談した内容はすぐに対応して頂いています。 ・○○の練習(支援)をしてほしいとお願いしたところ、早速次の時間から取り組んで下さり、対応の早さにとても感謝しております。 ・話しやすく、相談した事をすぐ行動におこす努力をしてくれる。	・今後も継続していきます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	43		3		・子どもや保護者に寄り添って下さり、こちらの意見に耳を傾けて下さるので意思疎通はできていると思います。	・今後も継続していきます。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	33	4	1	8	・そもそもあまり見ていない、こちらに通えて安心している為、評価も気にしない。 ・されています。	・連絡体制については、一斉連絡システム(アプリ)を使用し、情報をお伝えできるようにしています。自己評価につきましては、ホームページ上に掲載しています。 ・不定期ではありますが、教室便りを発行し、イベントのお知らせ等を引き続き行っています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	43	2		1	・されていると思います。	・個人情報が記載された書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	38			8	・利用開始時に説明がありました。	・今後も周知、訓練について、日々改善に努めています。
非常時等の対応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	3	1	16	・されていると思います。	
	25 事業所により、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	1		5	・カギの使用やドアの開け閉めなど安全であると思います。 ・されていると思います。	・緊急時の対応については、マニュアルを策定の上、年間の計画に基づき訓練及び研修を実施しています。 ・毎月実施項目を設定し、安全点検を行っています。
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	39	3	1	3	・一度怪我をした際に、すぐに対応、説明していただきました。 ・事故等は今までおきません。 ・転んで尻もちをついた程度のことでも、毎回しっかりと報告してくださいます。 ・今のところ事故の発生がないため、いつも安全な運営をいただきありがとうございます。	・怪我等があつた際には速やかに保護者の皆様に連絡をする体制を整えております。
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	45	1			・家庭と同じくらいの安心感を持っていると思います。 ・最初に通っていた所は自分から「行きたくない」と意見を述べることもありましたが、てらびあさんは1年半行き渋りなく、お迎え時の表情もきいきとしており楽しく活動できていると感じます。 ・毎回てらびあさんへの通所を嫌がらず、楽しく過ごさせていただいています。 ・いつも楽しく通う子どもを見て安心しています。 ・安心感を持って、毎回の活動を楽しみにしています。	・これからもお子さまが通所を楽しみに、より安心して過ごしていただける教室作りを行っていきます。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	45	1		<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しみにしています。 ・楽しく通所しています。優しく受け入れをして下さり、私も安心して預けることが出来ています。 ・毎日行きたい！と言うほど楽しい、安心できる場所と認識しているようです。 ・お友達とも仲良く打ち解けている。喜んでいます。 ・とても楽しみにしていて、ありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一同、より一層努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	43	3		<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足、感謝しております。 ・いつも温かくご指導いただきありがとうございます。 ・やることが最近は同じものが多い。 ・非常に満足しています。子どもも大きく成長しました。 ・いつも丁寧に支援して下さり、ありがとうございます。 ・寄り添った支援に感謝しております。 ・小さな成長も教えてください。たくさん前向きにほめてください、嬉しく思います。 ・通うようになって、着実に成長が見られて、すごく大切な時間になっています。ありがとうございます。 ・大変満足しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆様からのご要望やご意見を真摯に受け止め、今後の運営改善に活かしていきます。

事業所における自己評価結果

公表					
事業所名	てらびあばけっと与野駅前教室				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・小集団活動の際には、十分にスペースを確保できるように、取り組みの内容に応じて机や椅子などを出し入れし、広く使えるようにしています。	・個別療育を行う際に、子どもの人数に対して個室の数が少ない時間帯があるので、仕切りを使用したり、時間帯を変える等して、適切な空間を保っていきます。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		・法令で必要とされている人員配置基準に加え、加配要件を満たす人員配置を行っています。児童分野での経験と専門性を備えた職員配置に努めています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		・部屋の扉に動物の絵のイラストを貼り「〇〇の部屋」と呼び方を統一し、靴箱にもお部屋と同じ動物のイラストを貼り、その日に取り組む個室がどこになるかを分かりやすくしています	・玄関のスペースやトイレへ行くスペースが狭いため、安全に配慮したスペースの確保の工夫を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	・毎朝の清掃や、1クール毎の消毒を行い清潔な環境を保てるように気を付けています。常時、空気清浄機をつけ、冬場は加湿器を設置しています。	・個室によって夏は気温が高くなるので、冷気が行き渡るようにルーバーやスポットクーラーの設置を行いました。 ・職員個々の衛生意識の向上を図っています。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・クールダウンが必要な際や、自由あそびの時間帯に、指導員の付き添いのものと、使用することができます。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		・毎日の終札で、現状把握、課題の抽出、業務の見直しを図っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・集計結果やご意見を職員全体で共有し、改善に向けての話し合いを行い、改善へとつなげています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・終礼や会議以外でも、意見を出しやすい雰囲気ができるよう、意見交換や改善策を立てる等の体制がとられています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2 未記入2		・実施に向けては、今後の検討課題としています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・外部研修への参加や内部研修において、支援の質を高めるよう努めています。	・法人内の機能訓練職員を対象に、事例検討会や研修等の開催に向けて調整中です。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・5領域の視点でお子様の発達を捉え、プログラムを作成しています。ホームページでプログラムについて公表しています。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		・保護者面談を行い要望をお伺いし、アセスメントを実施しています。また実際のセラピーを通してアセスメントを行い、ガイドラインに沿って支援計画を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・児童発達支援管理責任者だけでなく、課題や目標が適切か職員間で共有し検討しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・計画をベースにしながら、フィードバックでの保護者の意見などを終礼等で共有し計画に沿った支援を行っています。	・計画に沿った支援が行われるように、日々のプログラムを立てる際に、必ず児童発達支援計画書に目を通すように引き続き周知していきます。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・標準化されたアセスメントシートと共に日々の行動記録やデータ表の記録で確認しています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・保護者様のご希望を伺ったうえで、5領域および支援内容を踏まえて、具体的な目標と支援内容を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・集団療育のプログラムについては、クール毎のリーダーの職員を筆頭にチームで意見を出し合い立案しています。	・個別療育やソーシャルセラピーについても、予定や取り組み方について、継続的に支援内容の確認を行い、職員全体で取り組めるように努めています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・様々な経験を出来るようにねらいを持っている内容と、経験の積み重ねから見通しを持って取り組めるプログラムを提供できるように工夫しています。	

19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		・個々の発達に合わせた支援と、個別で学んだことを少人数の活動のなかで発揮することができるソーシャルセラピーを組み合せています。	
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・毎朝、打ち合せを実施すると共に書面やホワイトボード等に記載し役割分担を明確化しています。	・集団活動を行う際に、個々の特性に合わせた環境設定や職員の役割を明確化していきます。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・支援終了後に変化や気づいた点、様子について職員間で必ず共有しています。また、申し送りノート、日報、行動記録なども活用し、休みの職員にも状況を共有しています。	
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・日々の支援のプログラム毎のデータ記録、日誌や行動記録等を記し、支援の検証・改善に努めています。	
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・半年に一回モニタリングを実施し、児童発達支援計画の見直しや継続の判断を保護者様と行っています。	
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・関係機関とのカンファレンス会議には、児童発達支援管理責任者や臨床心理士が参画しています。	
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		・必要に応じて連携を行い、より良い支援の提供を行う体制を整えています。	
	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・保護者様のご希望があった際に、幼稚園・保育園等へ訪問する等し、情報を共有しています。	
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		・小学校等と直接連携はしていませんが、引き継ぎ書を作成し保護者様を通じて情報を共有しているご家庭もあります。面談の際にご希望を伺う等し必要に応じて今後も行っていきます。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	6 未記入1	・市の発達障害支援研修等に積極的に参加し職員の研鑽を図っています。	・今後、連携を図れる機会があれば積極的に行なっていきます。
保護者への説明等	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7 未記入1		・こちらは今後も予定はありませんが、必要に応じて実施を検討していきます。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・毎回のフィードバックや家族支援、セラピーノートにて共有しています。 ・保護者様からの希望があった際は、簡易的な発達検査を臨床心理士が行い、フィードバックを行っています。	
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3 未記入1	・プログラムのテーマに沿った動画を定期的に配信しています。フィードバックの際に質問や感想をうかがい、ご家庭での対応方法等をお伝えしています。	
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約の際に分かりやすく丁寧な説明を心掛けています。	
	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・お聞き取りシートやモニタリングシート、面談を通して定期的に意向を確認しています。	
	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		・利用開始時及び更新時の作成後に説明を行い、同意を得て支援をすすめています。	
	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・半年に一回のモニタリング以外に随時セラピーノートや家族支援等で相談に応じ、発達や子育て支援の助言に努めています。また、フィードバック時に保護者様とコミュニケーションを図り、より相談しやすい関係作りを心掛けています。	
41	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8 未記入1		・今後、検討していきます。
	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・相談や申し入れは可能な限り、速やかに対応できるように体制を整えています。	
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		・不定期ではありますがおたよりの発行や、リタリコ発達ナビでのブログ、公式LINEを活用し連絡事項や情報を発信しています。	

42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> お子様が荷物を置くロッカーの名前や顔写真は、おわりの会の後に外すようにしています。 個人の名前が明記されたプリントや書類等、シュレッダーにかけ個人情報が漏れないようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> その日の担当児童のファイルや書類の管理方法について、個人情報に十分配慮なされているか再確認し、職員一人一人の意識の向上を図っていきます。
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> 視覚情報を加える等、理解を深められるよう配慮を行っています。 可能な限り合理的な配慮の観点に基づいた対応を心掛けています。 	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7 未記入1		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて実施を検討していきます。
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の実施、避難場所や経路の確認を行っています。 それぞれに対してのマニュアルを職員に周知し対応にあたっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や不審者対応等、実際にできるか不安がある職員もいる為、訓練の実施を増やしていくよう努めています。
	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		<ul style="list-style-type: none"> 定期的な訓練の実施を増やしていくよう努めています。
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> 契約時にお聞き取りを行い、必要に応じて対応方法等の共有を行っています。 	
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3 未記入1		<ul style="list-style-type: none"> 現在はフードトレーニングを行っているお子様はおりませんが、製作や感触あそびに活用している教材の中にも該当するアレルギー物質がないように配慮しすめています。
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> 安全計画を作成し、月毎の点検や研修及び訓練を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ドアの指挟み防止ガードを増やす等、より安全に配慮した工夫に努めています。
	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> 安全計画やBCPを閲覧しやすいように、入り口に設置しています。 契約時に緊急連絡先等の情報を共有していただき、避難場所の確認、お迎え方法や所要時間の確認をしています。 	
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> 終礼でヒヤリハットの報告や吸い上げを行い、報告書を作成し職員間で原因の究明及び再発防止に取り組んでいます。 	
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> 年一回以上、事業所内研修を実施しています。また、適切な支援を常に心掛ける為、虐待防止セルフチェックもを行い、防止対策の共有を図っています。 	
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	4 未記入1	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束に関しては、お子さまの生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行なうことを職員の共通認識としています。 現在は該当者がおりませんが、対象のお子さまがいる場合は組織的に決定し、児童発達支援計画に記載する体制があります。 	

事業所における自己評価総括表

公表				
○事業所名	てらびあぽけっと与野駅前教室			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 1日 ~ 2025年 8月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59	(回答者数)	46
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日 ~ 2025年 9月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的支援に該当する職員を多く配置している。	言語聴覚士、臨床心理士、5年以上の経験がある保育士等、それぞれの専門性を活かした集団及び個別支援を提供している。	内部研修や、外部研修に積極的に参加し、学んだことを職員全体に共有し、ひとりひとりの専門性を高めていく。
2	お子さまの発達に合わせたマンツーマンのセラピーを提供している。	個々の成長に合わせた個別プログラム・集団プログラム、それぞれにねらいをもった支援を行っている。	様々な視点から観察やアプローチを行い、適応行動の状況を捉えるなど、常に広い視野での支援を考えていく。
3	お子さまの情報や課題が、職員間でしっかりと共有できる仕組みができている。	朝礼、終礼での申し送りや日報、申し送りノート、お子さまそれぞれのデータファイルの共有がしっかりと行われている。また、職員それぞれがいつでも意見を言いやすい環境である。	通園先での様子の情報が、概ね保護者からの聞き取りになっているので、保育園や幼稚園との連携を増やしていく。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の関係機関との連携が少ない	ご要望があった際には、保育園・幼稚園へ訪問し情報共有を実施しているが、全体への周知が不足している。	保育園や幼稚園へ訪問し、情報を共有しながら連携した支援体制を構築していくように、保護者全体への周知を定期的に行っていき、訪問及び連携の機会を増やしていく。
2	保護者会を実施できていない。	日常的な支援業務を優先している為、機会を設けることが難しい。	保護者の方から、情報共有の場として保護者同士の交流会の要望が上がっているので、年間行事に組み込む等、実施可能な方法を模索していく。
3			